

シン・フオニイ



脚本：坪井花梨（社会福祉法人カリヨン子どもセンター）

演出：金井麻衣子（+new Company）

出演：子どもたちと東京弁護士会の弁護士

制作：東京弁護士会子どもの人権と少年法に関する特別委員会

共催：東京弁護士会・豊島区（豊島区児童虐待防止普及啓発事業） 協力：社会福祉法人カリヨン子どもセンター

照明：木村秀信／有限会社ライトシップ

音響：余田崇徳／斎藤裕喜

音楽：余田崇徳／ぼくぼく／Growen

イラスト：あさいまなぶ

10月7日（土）夜 午後6時00分開演
午後4時30分受付開始/午後5時30分客席開場

8日（日）昼 午後2時00分開演
午後0時30分受付開始/午後1時30分客席開場

あうるすぽっと【豊島区立舞台芸術交流センター】 入場無料 全席自由 先着順

シ・ン・フ・オ・ニ・イ

「もがれた翼」は、子どもを取り巻く現実とその現代的課題を広く皆さんに知っていただくことを目的として、1994年の子どもの権利条約の批准を機に子どもたちと弁護士でつくってきたお芝居です。



「もがれた翼」では、毎年、少年事件、いじめ、虐待などさまざまな問題を取り上げ、上演しておりますが、その中で一貫して、「子どもの声を聴く」こと、そしてその「声」を道しるべとした権利擁護活動の重要性を訴えてきました。

昨今、日本では、子どもの手続代理人、意見表明支援員が法律で規定されるなど、子どもの意見や思いの表明を支援すること、子どもアドボカシーの大切さが意識されるようになりました。

しかし、私たちは、家庭・学校・社会的擁護の現場で、子どもの声を十分に聴けているのでしょうか。

今年のテーマは、「子どもの声を聴く」です。

子どもは、聴く人（立場）によって言うことが変わることもあり、その言葉の全てが子どもの本当の言葉です。どちらかが正しい、誤っているというものではありません。また、発する言葉だけではなく、行動言語もあり、話さないという表現方法もあります。

私たちは、常に「まだまだ子どもの言葉を聴けていない」と謙虚に受け止め、子どもの声を聴くために、関係者がチームワークをもって、意見表明支援のみならず、意見形成支援もしながら、子どもと向き合い、対話していく必要があります。

お芝居では、親子関係に悩み、子どもシェルターを利用する高校生が登場します。

親との関係を修復したい、でも戻ったらまた不安な思いをするかもしれない…子どもの思いは揺れ動いていました。子どもの担当になった弁護士をはじめ、周囲のおとなたちは、そろって子どもの声に耳をかたむけていたが、それぞれに聴こえていたのは違う声であるようで…。

「子どもの声を聴く」とはどういうことか、私たちは、子どもの声を正確に聴けているのか、お芝居の登場人物を通して、一緒に考えていきたいと思えます。

10月7日(土) 夜 午後6時00分開演
午後4時30分受付開始
午後5時30分客席開場

28日(日) 昼 午後2時00分開演
午後0時30分受付開始
午後1時30分客席開場

受付開始時間まで、お待ちいただく場所がございませんので、ご了承ください。

★上演時間は 概ね90分を予定しております。★

入場無料

全席自由

先着順

全公演、手話通訳付きです。

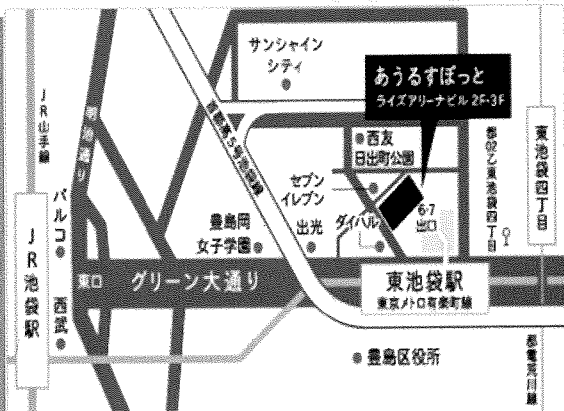


ご観劇の皆様には託児サービスをご利用いただけます。
(無料。申込先着順・要事前予約)
定員になり次第締切りとなりますのでご注意ください。
【対象】生後7か月～就学前/各回10名
【申込期間】9月11日(月)～9月25日(月)
午前10時～午後5時
【お申込先】豊島区東部子ども家庭支援センター
☎ 03-5980-5275

会場：あうるすぽっと

【豊島区立舞台芸術交流センター】

東京都豊島区東池袋 4-5-2 ライズアリーナビル 2F・3F



東京メトロ 有楽町線「東池袋駅」6・7番出口より直結
JR 他各線「池袋駅」(東口)よりグリーン大通り直進徒歩10分
都電荒川線「東池袋四丁目」より徒歩2分



「東池袋四丁目」停留所から徒歩3分
都営バス 都02乙(池袋駅東口～茗荷谷駅前～ツツ橋・東京ドームシティ行き)

詳しくは
東京弁護士会
HPをご覧ください。

<https://www.toben.or.jp/known/iinkai/children>



東京弁護士会人権課

お問合せ先 ☎03-3581-2205

